

01 九十九橋（掛合橋） 「湊地区歴史まっぷ」表紙参照

02 りていげんびょう
里程元標
福井市照手 1-1
戦国時代以前から交通の要所であるこの地にあり、越前各所への里程が刻まれている。なお石材となったのは柴田勝家以降である。

03 ぶっさんそうかいしよあと
物産総会所跡
福井市照手 1-1-1
横井小楠・三岡八郎の指導によって殖産興業の拠点となった。
(現在の照手郵便局付近である。)

04 ふくいゆうびんきょくあと
福井郵便局跡
福井市照手 1-1-1
明治 37 年九十九橋の北詰の繁華街に落成した。当時は二等郵便局であったが、大正 2 年に一等に昇格する。
写真:「わがまち福井」福井市・福井市教育委員会 平成 2 年

05 きょうまち・ちようめいれりふ
京町・町名レリーフ
福井市照手 1-2
京商品を扱う店が多くあり名付けられた。京都の町並みを偲ばせる繁華街として最も賑わった地域であった。

06 天台宗西山光照寺 福井大仏 「湊地区歴史まっぷ」表紙参照

07 ひがしべつていん しんしゅうおたにはふくいべつていんほんずいじ
東別院 真宗大谷派福井別院本瑞寺
福井市花月 1-2-36
名称 福井別院本瑞寺、本寺 京都市真宗本願(ほんびょう)東本願寺、本尊 阿弥陀如来、慶長 6 年(1601)結城秀康建立、明治 9 年真宗大谷派福井別院となる。通常東別院といわれている。

08 やまがたさぶるべいしもやしきあと
山県三郎兵衛下屋敷跡 (2600 石)
福井市花月 1-3
福井藩の家老(高知席)の別邸である。
(現在の西公園付近が該当する。)

09 ふうげつろうあと
風月楼跡
福井市照手 1-1-3
元禄年間(1688-1703)のころ料亭風月楼となる。横井小楠、坂本龍馬、橋曙寛なども利用したと伝わっている。
(現在小野グループゲストハウスが建てられている。)

10 きまち・ちようめいれりふ
木町・町名レリーフ
福井市照手 1-1-13
木町河戸より木材を搬入、材木問屋が集まる町であった。明治 5 年頃材木問屋は 4 軒あった。

11 しおちよう・ちようめいれりふ
塩町・町名レリーフ
福井市照手 1-5-5
塩問屋、塩小売人の町で、秀康入国以前から営んでいた。明治 5 年頃塩屋 5 軒、醤油醸造業が 3 軒あった。

12 やまちょう・ちようめいれりふ
山町・町名レリーフ
福井市照手 1-14-3
一乗谷の山の手に住んでいた者が、朝倉氏滅後北の庄城下に移転して来たため町名を山町と名付けた。この地には定宿「葎屋」があった。

13 たばこやりよかんあと
葎屋旅館跡
福井市照手 1-14-3
慶応 3 年(1867)11 月、坂本龍馬と三岡八郎が日本の将来について語り合った場所である。

14 ひしかわもろよしせいたんち
菱川師福生誕地
福井市照手 1-12-5
福井の師宣(もろのぶ)と賞賛、絵は早瀬来山に書は橋曙寛に学ぶ。明治 12 年画号菱川師福と名付けられる。代表作「馬威し図屏風(うまおとしずびょうぶ)」がある。(現在の長運寺辺りである。)

15 たかはしきないのはか(さいがんじ)
高橋記内の墓(西蔵寺)
福井市照手 1-10- 22
福井藩お抱えの鐺師(つばし)で、動物の鐺を造ることに優れていた。記内作の鐺は県立美術館にも所蔵されている。

16 ゆうきさん いおうじ
結城山 医王寺
福井市花月 1-9-13
慶長 6 年(1601)結城秀康が 400 坪の敷地と共に寄進し、秀康公の菩提寺となる。医王寺と名付けたのは「医者(い)は病人を救う、仏(は)は人を救う」という意味。昭和 60 年頃住職のいない寺となる。

17 せんぼつしゃのひ
戦没者の碑 (西部神明神社境内)
福井市花月 1-9
帝国在郷軍人会花月分会戦没者(日露 14 名、上海 2 名、支那 43 名)の名前が刻まれている。

18 乾尋常高等小学校跡 「湊地区歴史まっぷ」参照

19 みつはし・ほうこうじあと
三ッ橋・法興寺跡
福井市照手 2-3
柴田勝家が一乗谷三ッ橋より移した。その後戦災などで焼失し、現在地足羽 3 丁目に移し現在に及んでいる。(現在の照手公園一帯である。)

20 かけつしょうがっこうあと
花月小学校跡
福井市照手 2-4
明治 29 年~昭和 14 年。当初の敷地は約 300 坪を有し、授業料は月 4 銭であった。

21 福井藩十二ヶ月行事絵巻壁画 「湊地区歴史まっぷ」参照

22 さんしゅうえんあと
三秀園跡
福井市照手 3-1-1
福井藩家老 3000 石松平主馬(しゆめ)の別邸。明治 29 年福井市は公園地として買収し、昭和 24 年南側の一角に三秀プールを設置した。

「福井学」推進事業



福井市湊公民館創立 50 周年記念事業 湊地区歴史まっぷ作成委員会
福井市学園 1 丁目 4 番 8 号 tel. 0776-22-0032
<http://minato-cc.sakura.ne.jp/wp1/>

【一 区】

01 つくもばし(かけあいばし)
九十九橋(掛合橋)
福井市照手 1
幕末まで足羽川に架かっていた唯一の橋で、柴田勝家によって、半木半石の珍しい橋に架けかえられた。

【二 区】

33 あかりこめぐら(おくら)あと
明里米蔵(御蔵)跡
福井市光陽 1-25-29
慶安 2 年(1849)から明治 5 年迄、足羽郡下をはじめ、金津、鯖江から舟や馬で年貢米が運ばれた。敷地 3000 坪に米蔵が 34 棟あり、6 万俵が収納された。米は足羽川で三国まで下り大阪の米市場で売却した。

【三 区】

06 てんだいしゅうにしやまこうしょうじ ふくだいぶつ
天台宗西山光照寺 福井大仏
福井市花月 1-1-26
昔は一乗谷にあって朝倉一族の厚い加護を受けていた。慶長 11 年(1606)結城秀康が一乗谷より移し寺社奉行直轄寺院となる。今は福井大仏として親しまれている。

【四 区】

32 さかいはいくさんじんじや
境・白山神社
福井市日光 1-10
慶長 11 年(1606)頃に堺村の鎮守の社として現在地に白山神社を鎮座した。境内には樹齢約 500 年の樺(けやき)がある。

23 みやけしょうろうせいたんち
三宅丞四郎生誕地
福井市照手 3-4-1
絹織物の開拓者といわれた幕末からの機業家で、織機開発から生産・販売まで一貫経営を行った。

24 たちばなあけみたく(わらや)あと
橋曙寛宅(葎屋)跡
福井市照手 2-5-13
橋曙寛 37 歳(1848)の時足羽山黄金舎(こがねのや)から転居した。その後 43 歳で曙寛と改名し、この地で没後 20 年間暮らした。

25 織物検査場跡 「湊地区歴史まっぷ」参照

26 みなとはちまんじんじや
湊八幡神社
福井市照手 4-1
文明 3 年(1471)朝倉敏景が寄進する。明治 4 年より現在地となる。氏子戸数約 360 戸で例祭が 4 月 15 日に行われる。

27 すぎたいきしもやしきあと
杉田壱岐下屋敷跡 (1300 石)
福井市照手 3-3-8/9
福井藩の家老(高知席)の別邸である。

28 こうみょうじょうすい(しばはらじょうすい)
光明寺用水(芝原用水)
福井市照手 1/2/3
結城秀康が入国し、松岡の芝原郷から九頭竜川の水脈を上水道として城下に引水したことから名付けられた芝原用水の分流であるこの用水は飲用水としても重要で上水奉行が管理していた。

29 ほんだひだしもやしきあと
本多飛騨下屋敷跡 (2800 石)
福井市照手 4-3/8/9
福井藩の家老(高知席)の別邸である。
(現在の恵光寺一帯が該当する。)

30 いなばうねめしもやしきあと
福葉采女下屋敷跡 (2175 石)
福井市照手 4-4/7
福井藩の家老(高知席)の別邸である。
(現在の湊公園一帯が該当する)

31 天保の飢饉塚・地藏堂 「湊地区歴史まっぷ」参照

32 境・白山神社 「湊地区歴史まっぷ」表紙参照

33 明里御蔵(米蔵)跡 「湊地区歴史まっぷ」表紙参照

34 明里焼却場跡 「湊地区歴史まっぷ」参照

35 底喰川 「湊地区歴史まっぷ」参照

36 境橋 「湊地区歴史まっぷ」参照

37 光明寺用水(芝原用水) 「湊地区歴史まっぷ」参照

38 福井市営競馬場跡 「湊地区歴史まっぷ」参照